



# お口の健康ネットワーク 会報

Oral Health Network Newsletter vol.2 2009.9.1



## 「第58回日本口腔衛生学会大会長とつまようじ法」

朝日大学歯学部 口腔感染医療学講座社会口腔保健学分野 教授  
NPO法人お口の健康ネットワーク 理事  
磯崎篤則

私は、渡邊達夫先生がつまようじ法普及のため、「あなたのお口を磨かせてください」と声をかけ、ブラッシングされている姿を学会場でよく見かけました。私も先生のお弟子さんに磨いていただき、普段歯ブラシの当たってなかったところに毛先があたる快感を味わいました。いつも渡邊先生のおもしろいフィールド活動に感心していました。

しかし、残念な場面にも遭遇しました。それは、日本口腔衛生学会東海地方会に特別講演を先生にお願いし、学会終了後の宴会のときでした。渡邊先生が、宴会の御料理屋で、挨拶に現れた女将に、いつもの調子で「お口を磨かせてください」と言われ、即座にブラッシングされました。すると、激しく出血をしてしまったのです。女将は、すぐに退席されたのですが、その後、苦情の連絡がありました。それは、みなさんに楽しく食事をしていただく席で出血するようなことを突然されたことに対する女将さんの怒りでした。

私は、平成14年に同期生の小畑文也先生が第51回日本口腔衛生学会・総会に於いて「つまようじ法を用いて歯周病患者のメンテナンス療法を行っている歯科診療所における定期来院者の動向」を発表した演題のお手伝いをしました。発

表当日、ポスター会場に渡邊先生がこられ、「僕は今回の発表が大変うれしい、僕が、1日10人の患者を診ても、10日で100人じゃが、10人のつまようじ法をマスターした人が1日10人見れば100人じゃ。それだけ国民が救われる。だから、自分の大学出身者でない、開業している小畑先生がこのような発表してくれるのがうれしい」と話されたことが大変印象的でした。それから、私も自己流ですがつまようじ法を自分のブラッシングの中に取り入れました。すると、臼歯部の出血しやすかった部位が2週間ぐらいで出血しなくなりました。歯ブラシの毛先が歯肉にあたる心地よさと隅々まで歯ブラシが届いたことによる清掃感が快感でした。私は、スケーリングを受けるたびに痛みを感じていたので、いい方法に出会えたことに感謝しています。

朝日大学の岐阜市にある総合病院の総合健診センターでは人間ドックを行っています。開設以来、大学病院の片手間で他の診療科が歯科健診を行っていましたが、2000年11月から、人間ドックでの歯科健診を本格化することとなり、私たち(社会口腔保健分野)が健診を引き受けました。年間2500-2600人の歯科受診者があり、歯周病の重症者も少なくないことが開始2-3年で明らか

になりました。人間ドック受診者には、健診後、種々の精査の必要や治療の指示がだされます。しかし、歯科健診結果から出された指示により、精査を受けていただける人あるいは、治療勧告のうち、齲蝕は比較的治療されますが、歯周病は皆無に近い状態でした。そこで、私が教授を拝命（平成15年10月）して以来、ドック診療室に歯ブラシ、歯間清掃用具などを置き、ブラッシング指導を直接行えるようにしました。私は、これらと思う対象者に、つまようじ法により清掃しています。対象者の多くは、このブラッシングに対する驚きと気持ちよさを実施直後に話され、これからの自分の清掃法に取り入れようとしています。大学に診療科を持たないので、術者磨きと言えずひと通りブラッシング法を教えているのが現状です。

2007年より朝日大学学生にも元祖つまようじ法を学ばせるために渡邊先生に非常勤講師として講義をしていただいています。そんな縁があって、2009年、NPO法人お口の健康ネットワークを立ち上げられるときに、岐阜地域の代表としてNPO法人の理事の声掛けをいただきました。渡邊先生から直接つまようじ法を教わっていない私が理事とはおこがましいと申し上げましたが、渡邊先生から直接依頼されると断れる関係に無く、快く引き受けさせていただきました。

さて、今年度は、私が第58回日本口腔衛生学会総会の大会長をお引き受けしております。会期は、2009年10月9日(金)から11日(日)、会場は長良川国際会議場で、メインテーマを「健康格差を考える」として開催します。

国民の健康寿命の延伸と生活の質(QOL)の向上を口腔の健康から支える日本口腔衛生学会会員にとって、社会的要因と健康の疫学的アプローチが必要と考えました。そこで、特別講演に日本福祉大学教授 近藤克則先生をお迎えして「健康

の社会的決定要因—社会疫学の視点から」について講演をいただきます。さらに、東京大学神馬征峰教授にはこれからの健康づくりを考える上で重要な学校保健の立場から「国際視野に立った格差解消のための学校保健アプローチ」について講演をいただきます。シンポジウムは、「口腔疾患の健康格差」「フッ化物応用における地域格差、国際格差」および「口腔保健格差改善を目指した国際歯科保健活動の取り組み」というテーマで、討論を進めて行きたいと考えています。そして、岐阜につまようじ法を浸透させる第1弾として黒瀬真由美先生に市民フォーラム「歯周病予防の決め手 プロの歯磨きを体験しませんか」—歯ブラシでこんなに変わります—をご講演いただきます。座長は、岡山大学の森田学先生にお願いしました。また株式会社ピー・エム・ジェーさんには、ランチョンセミナーの開催をお願いしました。岐阜市民や県民に1人でも多く参加していただけるように、ポスターを多くの場所に配布しています。わずかな期間ですが、多くの皆様と有意義な時間を過ごせるように願っております。

国際会議場は、JR岐阜駅から少し離れていますが、金華山山頂の岐阜城を背景に、鶺鴒で知られる清流長良川のほとりに立地しています。この風光明媚な岐阜の地でお会いできることを楽しみにしております。



## 活動報告

**8/23「つまようじ法」症例検討会(大阪)**

日時:平成21年8月23日(日)13:30~17:00

会場:千里ライフサイエンスセンター

参加者数:17名

## ■講演「つまようじ法が生まれるまで」

岡山大学名誉教授 渡邊 達夫 先生

## ■症例検討会「歯周病患者へのつまようじ法による術者磨きの臨床応用」

## 【症例発表1】

pmj歯科診療所院長 黒瀬 真由美 先生

(座長:龍崎歯科医院院長 龍崎健栄 先生)

## 【症例発表2】

小畑歯科医院院長 小畑 文也 先生

(座長:久米歯科クリニック院長 久米 忠 先生)

## ■質疑応答、個別相談



症例発表をしていただき、症例について参加者の方から活発に質問、意見を出していただきました。最後に質疑応答、個別相談の時間も取りました。

## ★参加された方の声

## 【参考になった点など】

- 普段診療で悩んでいることが、少しくリアになった。討論型のセミナーも必要だと実感しました。(Dr)
- T-Fixのこと。ブラッシング(つまようじ法)で、いかに歯肉に効果があるか解りました。(Dr)
- 実際につまようじ法で磨いてみていただいて、自分もできないといけないなと感じました。(Dr)
- 数値無ければ評価無し。評価無ければ対策無しという話。とんとんマッサージを知らなかった。(Dr)
- 訪問歯科でのお話が特に心に残りました。(Dr)
- 術者磨きによって抜歯するような歯もそのまま残せているという状況は、私もいくつか見ているので、その効果はやっぱりすごいなと思いました。往診にも行かせてもらっているので、V7で磨く人を増やしていけたらと思います。(DH)
- つまようじ法を頑張っているDr, DHの熱意が伝わってきました。明日から、しっかりと取り組んで行きたいです。(DH)
- 初診時に患者へのPの重要性、つまようじ法の実施の説明をすると受け入れてもらいやすいと思った。T-Fixの位置づけ。(DH)
- つまようじ法を行っている最中の出血を見てもらったほうがいいことに気づいた。
- 最後に、V7を用いて、難しい症例の方の質問に答えてくださったことや、改善法を教えてくださいましたこと。モチベーションを持たせるにはどうすればよいのか、など。(DH)

## 【分かりにくかった点など】

- 1 症例ごとにディスカッションをしたほうがわかりやすかったです。(Dr)
- 具体的に分かりやすくTBIするには？(術者磨きは患者さんに対して印象がよいが、DHのTBIがなかなか難しく、苦労している)(Dr)
- ブラッシング圧、時間についての点が難しかったです。(DH)

## 事務局よりお知らせ

## ●今後の行事日程

月 日	内容	開催地	講師等	備考
9/13 (日)	理事会	東京		9 : 00～11 : 00
	第1回通常総会	東京		11 : 00～12 : 00
	「つまようじ法」症例検討会	東京	渡邊達夫 黒瀬真由美 小畑文也	13 : 30～17 : 00
10/4 (日)	「つまようじ法」セミナー	東京	黒瀬真由美 小畑文也	10 : 30～16 : 30
11/8 (日)	「つまようじ法」セミナー	名古屋	黒瀬真由美 小畑文也	10 : 00～16 : 00
11/21 (土)	日本歯科医療管理士協会公開講座	東京	黒瀬真由美	

## ●口腔衛生学会、公衆衛生学会で「つまようじ法」が紹介されます

今回会報の磯崎先生の寄稿にも書いていただいておりますが、10月9～11日の第58回日本口腔衛生学会のランチョンセミナーでつまようじ法が紹介されます。また、市民フォーラムでは黒瀬真由美先生の講演があります。

10月21～23日の第68回日本公衆衛生学会のランチョンセミナーでもつまようじ法が紹介されます。

両ランチョンセミナー共、座長は岡山大学教授の森田学先生です。

ランチョンセミナーの抄録を同封いたしますのでご参考ください。学会詳細につきましては下記のホームページをご覧ください。

第58回日本口腔衛生学会・総会 ホームページ <http://pcp.kyorin.ne.jp/dh58/>

第68回日本公衆衛生学会総会 ホームページ <http://www.secretariat.ne.jp/jsph68/>

## ●ホームページのアドレスが変わりました

ドメイン取得により、お口の健康ネットワークのホームページのアドレスが変わりました。新しいアドレスは、<http://www.oral-health-network.jp> です。

(当面、旧アドレスにアクセスいただいても自動的にジャンプします)

ホームページの内容はまだ変わっていませんが、これからリニューアルしていく予定です。

事務局のメールアドレスも変わりました。新しいアドレスは、

[info@oral-health-network.jp](mailto:info@oral-health-network.jp) です。

よろしく申し上げます。

(編集後記)

第2号の会報を発行させていただきました。会も新年度に入り、今後の活動内容について理事の先生方を中心に検討していただいております。会員の皆様からも、活動内容はもちろん、会報についてもご意見ご要望等ございましたら事務局までお気軽にご連絡ください。

お口の健康ネットワーク会報 Vol.2

2009年9月1日発行

発行：NPO 法人お口の健康ネットワーク  
〒700-0953 岡山市南区西市541-1  
TEL. 086-244-4692 FAX. 086-244-1351  
E-mail : [info@oral-health-network.jp](mailto:info@oral-health-network.jp)